

【ご参考資料】

2018年3月16日
野村アセットマネジメント株式会社

「野村日本割安低位株オープン」 設定後のポートフォリオについて

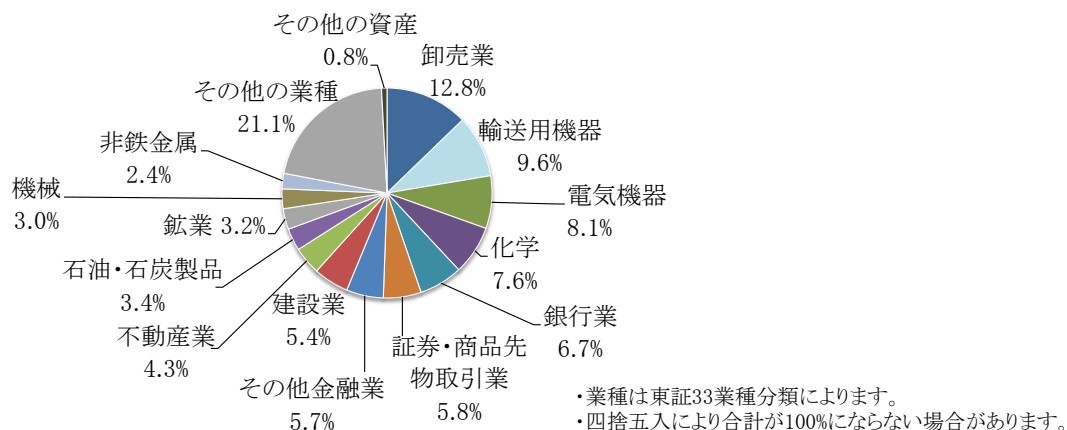
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2018年2月23日に設定しました、「野村日本割安低位株オープン」のポートフォリオの状況についてお知らせいたします。

2018年3月7日現在の業種別配分比率、特性値、組入上位10銘柄および組入銘柄数は以下のとおりです。

ポートフォリオの資産内容(2018年3月7日現在)

《業種別配分比率》



《TOPIXとの特性値の比較》

	ファンド	TOPIX
実績PBR(株価純資産倍率)	0.8倍	1.3倍
予想PER(株価収益率)	9.2倍	13.9倍
予想配当利回り	2.4%	2.0%
株価水準(単純平均)	848円	2,498円

・予想PERの算出に使用した1株当たり利益、予想配当利回りは、FactSet予想(2018年3月7日時点)。
・実績PBR、予想PER、予想配当利回りは株式の組入比率で加重平均した数値。

(出所) FactSetのデータ等を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

《組入上位10銘柄》

組入銘柄数 223銘柄

銘柄名	業種	株価(円)	実績PBR(倍)	予想PER(倍)	純資産比
富士通	電気機器	617.0	1.3	8.7	2.8%
JXTGホールディングス	石油・石炭製品	650.1	0.9	7.4	2.7%
大和証券グループ本社	証券・商品先物取引業	683.8	0.9	10.1	2.7%
国際石油開発帝石	鉱業	1,273.0	0.6	35.7	2.7%
日産自動車	輸送用機器	1,105.0	0.8	6.1	2.7%
住友商事	卸売業	1,794.0	0.9	7.5	2.7%
オリックス	その他金融業	1,843.0	0.9	7.9	2.7%
みずほフィナンシャルグループ	銀行業	194.2	0.5	9.0	2.6%
丸紅	卸売業	769.2	0.8	6.7	2.6%
三菱ケミカルホールディングス	化学	1,030.0	1.2	7.4	2.6%

- ・業種は東証33業種分類によります。
- ・予想PERの算出に使用した1株当たり利益は、FactSet予想(2018年3月7日時点)。

上記はファンドの組入上位銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

投資環境とファンドの基準価額

日本株式市場は、2018年に入り、日経平均株価が一時1991年以来の24,000円台をつけるなど、好調に推移しました。しかし、2月5日には米国株式市場においてダウ工業株30種平均が過去最大の下げ幅を記録したことなどを受けて、日本株式市場も大きく下落しました。主な要因として、2月に米国の長期金利が大きく上昇したことが挙げられます。その後の日本株式市場は、黒田日銀総裁再任による金融緩和政策の継続見通しなどから上昇する場面も見られました。

上述のような投資環境の中、2月23日にファンドを設定しました。3月に入っても、為替市場における円高米ドル安や、米国における保護主義への懸念が投資家心理を悪化させるなど調整局面が続いており、2018年3月7日現在、ファンドの基準価額は、9,595円となりました。

足元の投資環境においては、これまでの上昇相場の過熱感は薄れてきており、割安低位株にとっては反転上昇しやすい局面であると考えています。

今後とも「野村日本割安低位株オープン」をご愛顧賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

以上

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

ファンドの特色



わが国の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。



株式への投資にあたっては、

流動性があり、株価水準が低位* である銘柄を対象として、

財務リスク分析等による選別を行ない、

実績PBR(株価純資産倍率)・予想PER(株価収益率)等の観点から **割安な銘柄を選定** し、

組入銘柄を決定します。時価総額等を勘案して投資比率を算出し、ポートフォリオを構築します。

※株価そのものの値が小さいことをいいます。



当初ポートフォリオ構築後は、適宜、

リバランスおよび組入銘柄の見直しを行なうことを基本とします。

◆株式の組入比率は、原則として高位を基本とします。



資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

≪分配金に関する留意点≫

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

投資リスク

当ファンドの投資リスク ファンドのリスクは下記に限定されません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドは、株式等を投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

基準価額の変動要因 *基準価額の変動要因は下記に限定されるものではありません。

- **株価変動リスク**：ファンドは株式に投資を行ないますので、株価変動の影響を受けます。ファンドは低位株に投資を行ないますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、業種によっては市場とファンドの業種構成比が大きく異なる場合があり、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。

お申込みメモ

●信託期間	平成39年12月14日まで(平成30年2月23日設定)	
●決算日および収益分配	年1回の毎決算時(原則12月14日(休業日の場合は翌営業日))に、分配の方針に基づき分配します。	
*初回決算日は、平成30年12月14日となります。		
●ご購入時	●ご購入価額	ご購入申込日の基準価額
	●ご購入代金	原則、ご購入申込日から起算して5営業日目までに販売会社にお支払いください。
	●ご購入単位	一般コース(分配金を受取るコース): 1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 自動けいぞく投資コース(分配金が再投資されるコース): 1万口以上1口単位または1万円以上1円単位
*原則、ご購入後にコースの変更はできません。 *詳しくは、野村証券にお問い合わせください。		
●ご換金時	●ご換金価額	ご換金申込日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
	●ご換金代金	原則、ご換金申込日から起算して5営業日目から販売会社でお支払いします。
	●ご換金制限	大口換金には制限を設ける場合があります。
課税関係	個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。	

※お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

当ファンドに係る費用

(2018年3月現在)

●ご購入時手数料	ご購入代金*に応じてご購入価額に以下の率を乗じて得た額	
	ご購入代金	ご購入時手数料率
	1億円未満	3.24%(税抜3.0%)
	1億円以上5億円未満	1.62%(税抜1.5%)
	5億円以上	0.54%(税抜0.5%)
*ご購入代金=ご購入口数×基準価額+ご購入時手数料(税込)		
●運用管理費用(信託報酬)	ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。 純資産総額に年1.134%(税抜年1.05%)の率を乗じて得た額	
●その他の費用・手数料	ファンドの保有期間中に、その都度かかります。 (運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。)	
	・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・外貨建資産の保管等に要する費用 ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ファンドに関する租税 等	
●信託財産留保額(ご換金時)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額	

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆お申込みは

野村証券

商号：野村証券株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
 加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／
 一般社団法人金融先物取引業協会／
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会／
 一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104 ★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/> ★携帯サイト★ <http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>
 (受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。